

No.164

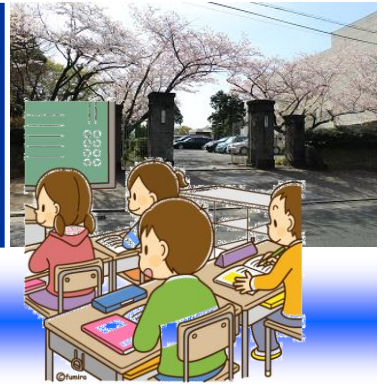
令和2年5月26日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

# Rising Sun



## 教え子からのメッセージ

解除されていなかった5都道県の緊急事態宣言が解除されました。「直近1週間の新たな感染者数が人口10万人あたり、0.5人程度以下」という政府の専門家会議が提示した目安を上回っている自治体もありますが、新規感染者数だけでなく「医療提供体制のひっ迫度」「検査件数が一定数以上担保されている」ことも解除の目安であり、解除はこれらを踏まえて「総合的に判断する」とされていますので、解除は妥当だと受け止めるべきなのでしょう。

心配されるのは、人々の意識と行動の変容です。何度もお伝えしてきたように、**緊急事態宣言の解除は、“安全宣言”ではない**ということです。緊急事態宣言が解除された自治体では、緊急事態宣言下よりも人出が大幅に増加しているという報告もなされています。

5月25日付け中日新聞「中日春秋」に、次のような一節がありました。

普通の日がひとまず帰ってくる。それ自体は喜ばしいが、やはり焦ってはなるまい。外出を控え、長く家で過ごしていた身体である。かつての生活に戻そうとすれば、心も悲鳴を上げるだろう。経済活動にしても失った稼ぎを取り返したいのは分かるが、一足飛びにかつての営業時間に戻せば、再び集団感染の危険もある。マスク着用や人との距離。守るべきものは守り、そろりと社会生活を再始動させたい。「解除」の声を「もう何をしても大丈夫」と勝手に解釈してはなるまい。

緊急事態宣言が解除され、学校が本格的に再開されることによって、すぐさまかつての日常に戻るわけではありません。私たちも生徒たちもそれはわかっていることだと思います。悲しいかな「わかっちゃいるけど、実行は難しい」のが現実だと思います。もうしばらくは、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの保持、3密の回避等を念頭に生活しなくてはなりません。生徒たちへの丁寧な指導をお願いします。

先週のことです。思いがけず教え子からメールが届きました。教え子といっても、今年47歳になる立派なおじさんですけどね(失礼)。新卒から3年間担任しましたので、深く記憶に刻まれています。卒業後はそんなに頻りに連絡を取っているような関係ではありませんが、初めて校長に就任したとき、わざわざ学校まで会いに来てくれたりしました。本人の承諾を得ましたので、今は学習塾を経営している彼からのメッセージを紹介します。私自身が勇気と希望をもらいました。

ご無沙汰しております。KTです。

先生のRising Sunを折りに触れて読ませていただいております。

特にここ数か月は苦しい状況が続いており、先生の当時と変わらない常に前向きなメッセージから勇気と希望を頂いています。先月のラジオパーソナリティーの挿話はきっとYTさんのことですよ。僕もちょうど聞いていました。小学校の時に先生の車(HONDAのシティ)の助手席で彼の音楽を聴いて以来今でもよく聴くアーティストの一人になっています。

話がそれましたが、先生のお言葉を読んで、今は不平不満を言わず一歩ずつ前へ進んでいかなばと思えるようになりました。

思えば先生からは当時も多くのことを学びました。その中でも記憶に残っているのは、挨拶の重要性です。たしか「挨拶は心を開いて相手に迫る」という意味だとおっしゃっていました。

その教えは僕の心にずっと残っていて今でも授業の前に玄関先に立ち、大きな声で登塾してきた生徒に挨拶をするようにしています。こんな時期は特に明るく元気にと心がけています。

こうして黙文を打っていると、また先生からいろんな教えを受けたいと思うようになってきます。この状況が収束したらまたお話しする機会を作ってください。まずは激務だと思いますがお体にご自愛なさってください。

長文失礼致しました。

KTより